

うた ひつじの詩だより

2012.9.1
毎月発行 No.138
この裏にはご注文の品と
いっしょにお届けします

日中の空にはまだ、もくもくと湧き上がるような入道雲が健在です。太平洋高気圧の「ここにいるぞ！ まだまだ元気だぞ！」という声が聞こえてきそうです。

それでも、朝夕の風には涼しさを感じられるようになりました。72節季では、禾乃登（コクモノすなわちみのる）。田んぼの稲穂は黄金色の実りをいただき、重そうに頭をたれています。この先は、草露白（くさのツユしろし）、鶺鴒鳴（セキレイなく）、玄鳥去（ツバメさる）。どんどん加速して深まっていく秋の予感がします。

9月のテーブル 「虫たちの四重奏」

今月は思い切り近く、足元のちいさな世界に秋を感じて・・・。
今はまだセミのぼうがうるさいくらい鳴いていますが、もうすぐ夜がぐっと涼しくなって虫たちがきそって鳴きはじめるでしょう。秋が待ち遠しいですね。
池上洋子



NHKのハンドクラフトの番組が「おしゃれ工房」だった頃、そこに出演され、スウェーデンのヘムスロイドの機関誌にもご夫婦で取材を受けられた萩原さんが、わが横浜、戸塚にご在住です。衣食住すべてに、個性的なお宅を訪問する機会を何回かいただきました。

その萩原ご夫妻がNHKさんとスウェーデンに行かれることになり、海外初めての久子さんから、まりーさんに電話が入りました。スウェーデンに長くいたというだけの、何のお役にもたてないまりーさん。なぜかといえば、まりーさんに欠ける所の、生まれた国（日本）をよく知り、その

独自性をしっかり表現して、暮らしのすべてに筋が通っている人は、他国の人にとって最も魅力的である、という条件をすべてご夫妻はクリアされているのですから。申し遅れましたが、久さんは、書家で刺し子の作家さんです。またご主人の卓さんの絵と共作で一閑張りを制作していらっしゃいます。きっと、スウェーデンに一陣の風を起こして、国際交流をしてこられることでしょう。

余談ですが、NHKって、スウェーデン語読みだと、エヌホーコーとなります。響きが面白いですね。刺し子の久さんに刺激されて、延々とエヌホーコー的な？私の刺し子がまだ終わらずにいます。カーリンさんの機関誌、ポ・ヴェーグ（途上）のようです。

今日（27日）から、学校が始まる所も多く夏気分も一区切りですね。けれど、太陽はかっかと輝き、せみの大合唱も鳴り止まず、毎朝の庭の水やりも欠かせません。そんな中、楽しみにしていた、フウセンカズラの実を、採って開いてみました。ひとつの風船に必ず3つの種が入っています。そのひとつひとつには、黒地に白い♡のマークが律儀に、印刷されたように、描かれています。初めて育てたカズラの可愛らしい種に小躍りしてしまいました。てのひらにころがして、しばらく宙に目を泳がすと、んっ、ひらめきました！ わっ、天才か！って程のことはありませんが、来年の4月の「ひつじのうたまつり」で、このかそけき思いつき、見てくださいね。



★2013年4月12日（金）から14日（日）横浜赤レンガ倉庫にて「ひつじのうたまつり」を開催。全国のウォルドルフ人形の伝え手の思いがここに結集します！ご期待ください。

ばたぼん通信 「ライアー世界大会 in ポーデン湖 2012」に参加して

3年に一度行われる「ライアー世界大会」が7/28～8/3の間、ドイツで行われました。



開催地となった。ポーデン湖はスイスの国境に近く、周辺にはライアーを作る工房がいくつもあって、美しい水をたたえた湖と澄んだ空気で、ライアーの生まれ故郷とも言える自然豊かな場所でした。

会場は、ユーバーリンゲンにあるシュタイナー学校です。シュタイナー建築の学校のまわりには色とりどりの花が咲き、緑に囲まれた中で自然と調和した美しい作りでした。校舎の中は、有機的なフォルムや曲線が至る所に使

われていて開放感があります。学年ごとのカラーに塗り分けられた廊下や教室の壁は、それぞれの色によって異なる印象を感じさせます。子どもたちが日々豊かな空間の中で、心も体も健やかに学んでいる様子が思い描けるようでした。

教室の中に子どもたちが染色したのでしょうか、きれいな毛糸がかけられていました。きっと授業での手仕事に使われるのでしょうか。毛糸の猫やヒツジの人形、編んだヒモなどがおいてある部屋もありましたが、いろいろな学年の手仕事作品もぜひ見てみたかったです。



近くには幼稚園や老人施設、スペシャルニーズの子どもたちの学校、農場、ショップ、レストランなどもあり、同様にシュタイナー建築で建てられていて安らげる空間でした。

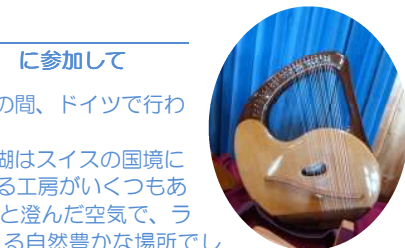
ライアー大会ではドイツをはじめ、スイス、オランダ、アイルランド、イギリス、スウェーデンなどのヨーロッパ各地や、アメリカ、ブラジル、オーストラリア。そして日本からもたくさんの方が参加して音楽の交流を深めました。

多くのライアー制作者も参加しているので、普段では見られない貴重なライアー、復元された古代ライアーの紹介や、試し弾き、新しいライアーの展望についてうかがうなど、直接会ってお話し出来るのも大会の魅力一つです。

各国の講師のレッスンを受けられる講座の時間では、ドイツ語や英語が主なので不自由な点もありましたが、言葉が違っても、同じ気持ちで同じ空間を共有し、通じ合えるという素晴らしい体験ができました。お互いに学び合い、音楽を楽しむことに、国の違いなど関係ないですね。

夜には、毎日いろいろなコンサートが企画されました。特に、今回のテーマは「ライアー」と「声」だったので、ライアーの音色にのせた歌声が、木造のホールに美しく響き渡るのを堪能することが出来ました。大会に参加でき、素敵な出会いと、感動の時間を過ごせたこと、ライアーと共にあることに心から感謝したいと思います。

根本裕美（茨城県日立市在住）



「スペース ペレのあたらしいふく」9月の開店日

1日(土)～15日(土) (日曜・祝日を除く) 10:00～16:30

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当：佐藤治子

♥スウェーデンひつじの詩舎♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口（金）寺田裕子 045-881-7035